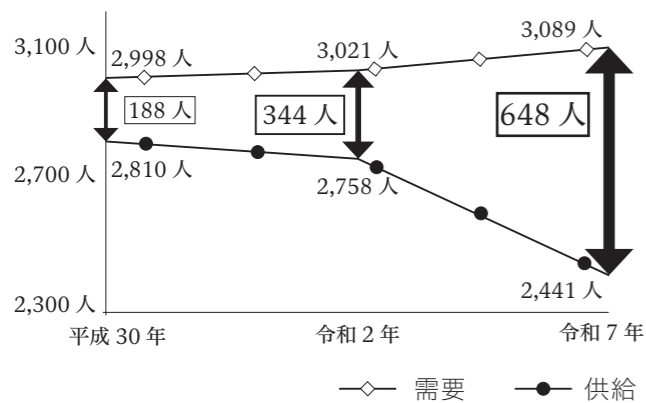


高齢社会と介護について

市の人口・高齢者数・高齢化率 (令和元年9月末現在)

人口	73,310人
65歳以上人口	23,920人
高齢化率	32.6%
75歳以上人口	13,265人
後期高齢化率	18.1%

市の介護人材に係る需要・供給推計 (平成29年)



市の高齢化率と介護の状況
全国的に少子高齢化が急速に進んでおり、今では高齢化率が21%を超える超高齢社会と呼ばれる状態になっている。これはご存じでしょうか。
市も同様に少子高齢化が進んでおり、総人口に対する65歳以上の高齢者の割合である『高齢化率』及び75歳以上の高齢者の割合である『後期高齢化率』は、平成29年では31.5%と17.1%でしたが、30年後の令和29年には、『高

齢化率』は42.7%、『後期高齢化率』は25.1%となる見込みです。ほぼ2人に1人が65歳以上、4人に1人が75歳以上の状態となります。
高齢化が進むと介護を必要とする方も増加し、高齢の方ほど介護状態が重度化・長期化する傾向があることから、介護人材需要はこれからも増加することが予想されています。
しかし、その介護サービスを支えている介護職員は、大きく不足している状況です(左図参照)。今後、少子化に

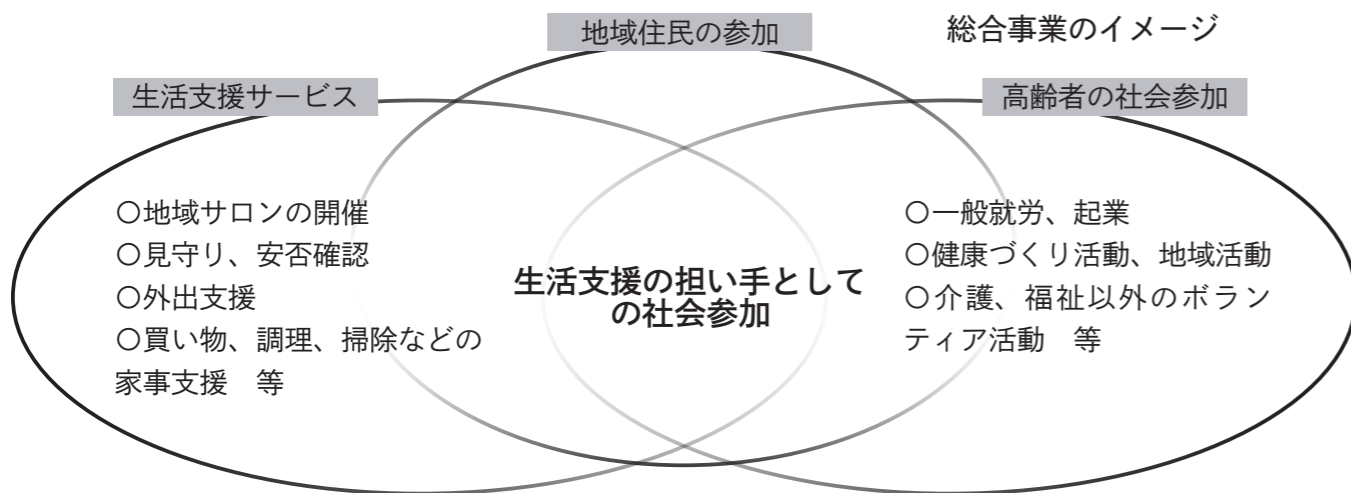
より働き手である若年層の人口減少が進むことから、介護人材はさらに不足することが予測されており、介護人材の確保が大きな課題となっています。

安心して暮らせる 老後のために

これからは、介護サービスを持続していくため、介護予防による元気な高齢者を増やす、いわゆる健康寿命の引き上げが重要となっています。

一方で、介護人材面では、身体介護などの専門的な介護以外の生活支援の部分で様々な担い手の活躍が期待されています。

国では、高齢者も含めた地域住民に、社会参加をすることで自分自身の健康寿命を引き上げ、生活支援の担い手として活躍していただくため、介護予防・日常生活支援総合事業(以下、総合事業)を策定し、市でも取組を始めています。



特集 人生これから ～高齢者の生きがい～

本格的な高齢社会の到来により、今後介護を必要とする方はますます増加すると予想されます。そこで今回は、生活支援サービスの充実と高齢者の社会参加・介護予防を柱とした事業について紹介します。

社会参加・社会的役割を持つことは生きがいや介護予防にもつながります。支え合い安心して暮らせるよりよい地域づくりを目指して、一緒に考えていきませんか。

☎0739(26)4910
☎0739(26)4910



02 目次・特集「人生これから～高齢者の生きがい～」

08 新庁舎の基本設計について

10 トップニュース
各種計画(素案)についてご意見をお聞かせください/紀州石神田辺梅林が開園します ほか

14 情報ボックス
第45回熊野古道近野山間マラソン大会を開催します/家族介護教室を開催します ほか

20 相談日程等

22 みんなの広場

26 みんなの彩時記
稲荷神社例大祭地元3地区から獅子が舞う/祝成人!新たな決意で大人の一步を踏み出す ほか



今月の表紙写真

今月の表紙は、訪問介護サービスを利用する方のご自宅で、支援員が利用者さんと会話をしながらお手伝いをしている様子を撮影しました。

紙面で使用するマーク等の説明

日…日付・期間	定…定員
時…時間	料…料金・費用
休…休館日	持…持ち物
場…場所	申…申込み・申請方法
集…集合	問…問合せ
内…内容	[消印]…消印有効
対…対象・参加資格等	[先着]…先着順

◇☎マークには、振替休日等も含まれます。
◇料金や申込み方法の記載のないものは、不要です。
◇市役所の開庁時間(申込み・問合せ等の受付を含む)は、☎を除く月～金の8時30分～17時15分です。毎週☎は、市民課・保険課・税務課の一部窓口を19時まで延長しています。

現場の声

介護サービスを維持するために

喜んでもらえれば自分も元気に現場での経験
私は静岡で、介護保険制度が始まった当時から、介護保険の対象とならなかった方の訪問看護をしていました。その中で、ケアマネジャーさんから、「傾聴はできないか」と依頼されました。つまり、サービス利用者さんの話し相手ですね。ヘルパーなどのサービス提供者は、業務多忙の中、話をゆつくりする余裕がありません。一方で、利用者さんの中には話し相手になってほしいという方もいらっ



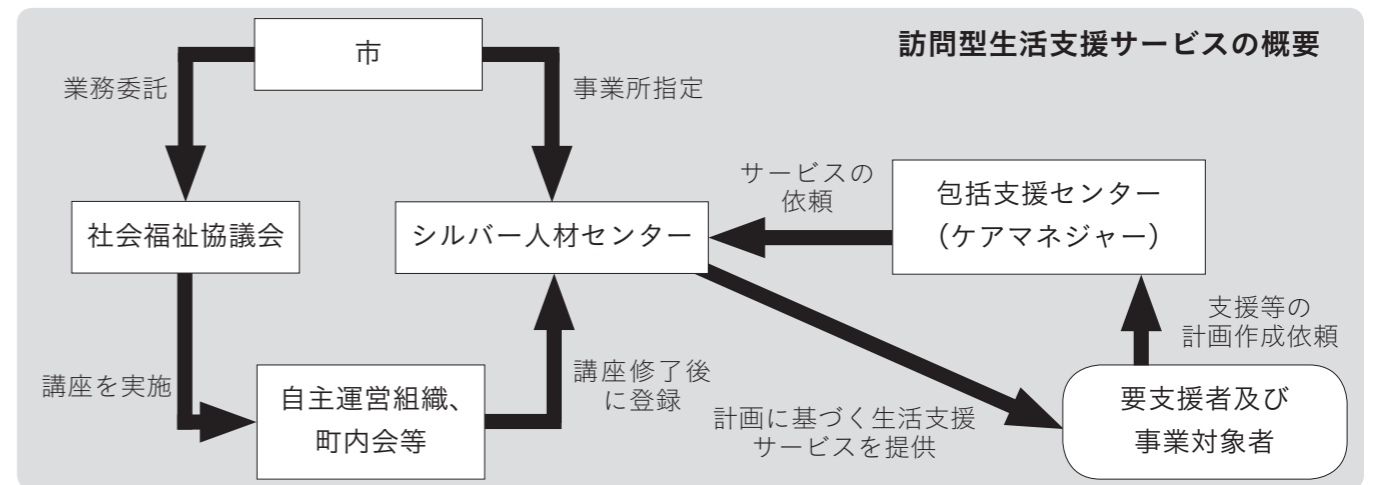
しゃいます。そこで、話し相手をボランティアでしようと「傾聴ボランティア」を立ち上げました。月一回ではありますが、今も続いており、今年で10年となっています。
自立と尊厳
田辺に帰ってからも、傾聴ボランティアのようなことはできないかと思っていたところ、訪問型生活支援サービスに出会い、去年シルバー人材センターに登録しました。
10月から働き始めたので、まだまだ経験はありませんが、大切にしていることはあります。

地域の实情に合わせて サービスを提供
平成29年度から総合事業が始まりました。これにより、「要支援1、2」向けの訪問介護と通所介護が、国の事業から市町村の事業に移行され、市町村が地域の实情に合ったサービスを独自の仕組みで展開できるようにしました。
簡単な家事を手伝います！
市では、総合事業の一つとして、社会福祉協議会・シルバー人材センターと連携し、「田辺市訪問型生活支援サービス」を実施しています。
これは、社会福祉協議会が実施する「ご近所ボランティア養成講座（以下、講座）」を受講した方が、シルバー人材センターに登録することによって、「訪問型生活支援員（以下、支援員）」となり、家事援助を行うものです。（下記参照）



▲講座の様子

期待できる効果
高齢者と呼ばれる年齢に到達しても、現在は元気に働ける方がたくさんいます。そういった方々に支援員として活躍いただくことで、社会参加や社会的役割を持つことになり、生きがいや介護予防にもつながっていきます。
また、支援を必要とされる方にもメリットがあります。1回当たりの利用者負担は通常のヘルパー利用に比べて安価なため、必要なサービスを増やすことができます。



訪問型生活支援員
あいはたのりこ
藍畑 紀子さん (65歳)

それは、利用者さんの自立と尊厳です。私のやり方で仕事を進めた方が、自分のペースでできるので楽なのは当たり前です。でも、掃除の仕方一つをとっても、利用者さんが自分でできていたときの仕方があります。私は、それを聞いた上でお手伝いをするようにしています。自分でできる範囲は自分で、自分でできない範囲は私が担うことで、相手を尊重するとともに、少しでも自立につながるよう努めています。

『あなたに会えて良かった』
笑顔もすごく大事にしています。自分も今は元気に動くことができますが、いざれ動けなくなる可能性があります。その時の立場を考えたら、笑顔で対応された方がうれしいですね。また、誰かに喜んでもらえたら自分の元気にもなります。今まで私が経験してきたことを生かして、それが相手喜んでくれる。これほど嬉しいことはありません。『あなたに会えて良かった』と、常に思うことで自然と笑顔も出てきます。
「誰にでもできることではない」と、介護の現場となるとハードルが高いように考えてしまいがちですが、このサービスはあくまで介護予防です。ちょっとした支援を必要としている方がたくさんいます。一人ひとりのできるちよっとした支援が集まれば、その分喜んでくれる方は多くなります。
一緒に力を合わせて、笑顔あふれるまちにしませんか？

■訪問型生活支援サービスの講習回数と修了者数

年度	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年 12月現在	合計
開催数	1回	27回	23回	11回	62回
修了者数	田辺	101名	54名	13名	183名
	龍神	46名	16名	4名	66名
	中辺路	25名	4名	3名	32名
	大塔	26名	26名	17名	69名
	本宮	49名	40名	9名	98名
	合計	15名	247名	140名	46名

※平成 28 年は試験的に開催したものです。



お困りの方へ

訪問型生活支援サービスは、ケアマネジャーの計画に基づいて下記のような家事援助サービスを行います。

サービス準備等

- ◇利用者の安否や顔色等の確認
- ◇換気、室温・日当たりの調整等
- ◇相談援助、情報収集・提供
- ◇サービスの提供後の記録等
- ※状況に応じて行うものです。

衣類の整理・被服の補修

- ◇夏・冬物等の入れ替え等
- ◇ボタン付け・破れの補修等



買い物・薬の受け取り

- ◇日用品等の買い物
(内容の確認、品物・釣銭の確認を含む。)
- ◇薬の受け取り



ベッドメイク

- ◇利用者不在のベッドでのシーツ交換、布団カバーの交換等



掃除

- ◇居室内やトイレ、卓上の清掃
- ◇ゴミ出し
- ◇準備・後片付け



洗濯

- ◇洗濯機又は手洗いによる洗濯
- ◇洗濯物の乾燥(物干し)
- ◇洗濯物の取り入れと収納
- ◇アイロンがけ



一般的な調理、配下膳

- ◇配膳、後片付けのみ
- ◇一般的な調理



私は現在、要支援2の認定を受けています。以前から、ヘルパーさんのお世話になっていました。訪問型生活支援サービスができてからは、どこにも利用させてもらっていません。生活支援員さんには週2回、買い物や掃除、調理を1時間程度手伝ってもらっているのが大変助かります。今では、お互い苗字ではなく、名前で呼び合っていますよ。仲良くできています。

サービスの利用者からのお話



市内在住
女性(90歳)

助け合いの気持ちを

急速に進む後期高齢者人口の増加、それを支える介護職員の不足などの解決に向けて総合事業に取り組んでいます。介護を必要とする方はほぼ横ばいで推移しており、少子高齢化に伴い、今後ますます介護職員が不足することが予想されます。そのため高齢者の健康寿命の延伸と専門家以外の担い手の育成が必要となってきています。しかし、この取組には地域住民の助け合いは必要不可欠です。まずは自らの健康に注意を払いながら介護予防活動に取り組む「自助」、そして、元気な方にはこれまでの経験や知識を活かし、社会の担い手として活躍していただきたいと思います。また、市としても高齢者が社会参加しやすい環境づくりを目指していきたいと考えています。



やすらぎ対策課
高齢福祉係
太田 功

シルバー人材センター

訪問型生活支援サービスの事業所として、シルバー人材センターを指定しているのは、県内では田辺市だけです。支援員となるためには、シルバー人材センターへ登録し、年会費2500円が必要となりますが、登録した初年度は市が全額補助する制度もあります。また、支援員として働いた方には、仕事量に応じて配分金をお支払いします。

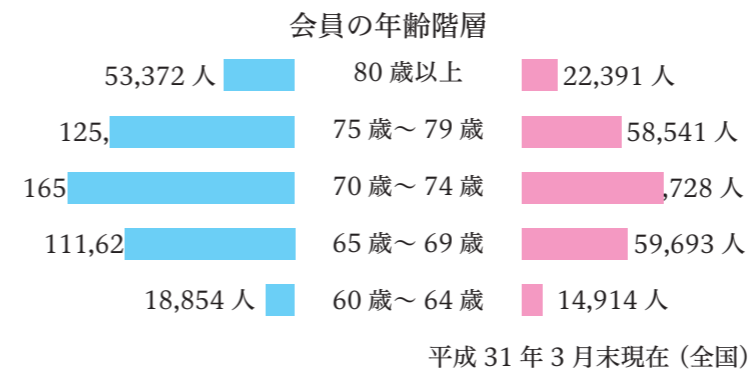
なお、サービスの利用者は、1割負担(一定以上の所得がある方は2割又は3割)で利用することができます。

シルバー人材センターとは

高齢者が働くことを通じて社会参加をし、自らの生きがいの充実と健康の増進を図るとともに活力ある地域社会作りに貢献することを目的としている団体です。健康で働く意欲のある高齢者(60歳以上)が会員となり、会員各人の希望・経験・能力に応じてお互い力を合わせて臨時的・短期的又は軽易な仕事を引き受け、会員に提供するシステムとなっています。

働き方

高齢者の生きがいづくりを目的とした就業ですので、危険・有害な作業を内容とする仕事は引き受けません。高齢者のライフサイクルに応じた任意就業なので、就業日数や収入の保証はありませんが、会員各人の体力・能力・希望に応じた就業ができ、技能・技術を高めるために各種の講習も実施しています。



多種多様な事業

- ◇福祉・家事援助サービス、介護予防・日常生活支援総合事業
- ◇介護施設での就業
- ◇空き家等管理事業
- 他にもシルバー人材センターならではの多種多様な仕事を行っており、地域のニーズの受け皿としての役割を担っています。

会員の入会動機

